

神石高原中学校校歌

「ひかりのそのさきへ」

作詞 森浩美/福本ヒデ

作曲 谷本賢一郎

一、心の窓から 飛ばした紙ひこうき

ふわりと高く 舞い上がる

地図にもものらない 夢のありか

みんなで 探すために

緑の木漏れ日の下

時を忘れて語り合えば

誰もが 笑顔 ほら あふれだすよ

胸に秘めた 熱い思い出

まっすぐ 明日を見てる

まばゆい季節と 大空に抱かれて

夢をつむぐ強い力 勇気を信じるままに

はるかな未来へ 翼を広げよう

僕らは わたしたらは 光のその先へ

二、

校庭の山ぼうし 結んだ赤い果实

希望の香り 運んでくる

ああ雲の海に 星の川に

笑い声響かせよう

ときには戸惑いながら

もしも何かに傷ついても

一人じゃないよ さあ 手をつなごう

それぞれ夢は 違っていて

何でも分から含えるさ

春 夏 秋 冬 心を躍らせ

夢の軌道描いてゆく まだまだ夢の途中

輝く未来へ 自由な風になる

僕らは わたしたらは 光のその先へ